

令和5年1月定例記者会見要旨

開催日時 令和5年1月25日(水) 午前10時30分 302会議室

(総務部長) 皆さんこんにちは。大分寒い中、お越しいただきありがとうございます。ただいまより1月の定例記者会見を開会いたします。よろしく申し上げます。

(市長) みなさんありがとうございます。今期最低の-13℃、この管内も大寒ということで、記録的な寒さでございました。お忙しい中皆さんにご参集いただきましてありがとうございます。塩尻峠等は、一時通行止めになったり、県内各地でいろいろありましたが、諏訪市内におきましては、大きな事故や災害等にならずにありがたく思っております。交通の関係につきましては、かりんちゃんバスの遅延と、各地で個々のお車のスリップ事故等がありまして、遅延しているということで少しご迷惑をおかけしていることを申し訳なく思っておりますが、早急に回復できるよう努めます。日頃から記者クラブの皆様には、ご協力をいただきましてありがとうございます。1月の定例記者会見ということで、お手元にも資料をお配りさせていただきましたので、それに沿いまして発表したいと思っております。

最初は新型コロナウイルスワクチン接種のお願いについてです。第8波という渦中にあります。国全体とすれば、ご承知のとおり首相から春に向けて、2類から5類へ変更する手続きが指示されておりまして、それに沿って今準備を進めていることと思っております。社会経済活動も、またフェーズが上がってくるというふうに捉えております。一方で今現状、第8波の中で感染者数は依然高い状況でありまして、心配されるのは死亡者数、高齢者や基礎疾患のある方への感染です。医療の逼迫状態については乗り越えていかなければならない直近の課題であります。知らないうちに感染して、自分がその仲介役になってしまっていることを気づかないケースもあろうかと思っております。現状を見ますと、資料の通り若年層の接種率が上がってきておりません。現時点では、公費負担によるワクチン接種の期間が3月末までと迫ってきていることから、ぜひワクチン接種の促進をお願いしたいと思っております。若年層の20代から40代における3回目の接種率が実は上がってきておらず、20代の3回目接種率が65%台、30歳代が58%台、40代が66%台ということで、高齢者の皆さんの80%~90%台と比べると、接種率が上がってきていないことが心配です。4回目の接種は重症化予防ということで60歳以上の対象でしたが、5回目は2価ワクチンということで、3回目まで接種された若者の皆さんにも打っていただくことができるということになっておりますが、ぜひ若者の皆さんに接種していただきたいとメッセージを発信しております。メディアの皆さんにも応援をいただきたいと思っております。県の方では、高齢者の目標が90%、若年層もこの数字をアップしていくのを目標にしておりますが、諏訪市における接種状況5回目は全体で24.8%、うち高齢者接種率は59.7%です。感染をしないように、しても軽症で済むように、死亡者数を減らすように、医療の逼迫を低減することができるように、ワクチン接種のご協力をお願いしたいと思っております。強制ではありませんが、お勧めしたいというお願いでございます。

二つ目に、諏訪市職員採用説明会を開催いたします。諏訪市は今まで、この時期に採用説明会を行っていませんでした。オンライン開催も初めてですが、採用説明会をするのは初の試みであります。昨今、各自治体において受験者の確保に熱心に取り組んでいるところですが、令和5年度に受験をされたいと思う方、あるいはそのご家族の方を対象に、オンラインの説明会を3月4日土曜日、午前10時から約1時間程度という内容で募集いたします。目標値として定員50名と掲げましたが、オンラインのため定員を超えたとしてもお聞きいただくことができます。ご質問がありましたら後程お受けしたいと思います。ぜひ諏訪市の職員として一緒に働きたいと思っている方がいらっしゃいましたら、早めのヒアリング等で準備を進めていただけたらと思っております。

2月の主な予定を掲載させていただきました。2月13日月曜日10時から令和5年度の当初予算案の記者発表を準備させていただいております。今大方の査定が終わりまして、様々な最終の調整に入っているところであります。来年度予算は改選期であることから、政策的な判断については一部を留保した形になっておりますが、ここで当初予算の発表となります。そして、2月14日と15日に区長会議を2年ぶりに開催いたします。89地区ありますので、感染症対策から2日間に分け、14日は上諏訪地区の皆さん、15日は豊田・四賀・中洲・湖南、旧村部と言われる地区の皆さんの区長を対象に午後7時から開催いたします。市の行政の主だった5年度の政策、そして地区でご利用いただける様々な補助メニュー、助成メニュー、またご協力をいただきたい災害時の対応など区と市のパイプをしっかりとつなぐ大事な会議であり、2年ぶりに開催ができることを大変ありがたく思っております。それから、2月20日に3月定例会の招集をさせていただきます。この3月議会が私にとっても議員の皆さんにとっても任期の最終定例会となります。2月21日は新技術・新工法展示商談会があり、豊田市のTOYOTAにまいります。私自身も何年ぶりかで伺いますが、開催できることを大変ありがたく思っております。そして、官民連携上諏訪駅周辺未来ビジョン策定会議、男女共同参画審議会などいくつかの計画を審議してもらっているところで、この3月末をもってひとつの区切りとなり、新たなものに向かう計画がまとまってくる会議もいくつか入っております。ご取材の方をお願いできたらと思っております。参考資料としてお付けしました「観光ひらめきセミナー」、今月の27日と2月6日です。これは観光グランドデザインをまとめて、現在観光地の上諏訪温泉旅館街が本気を持ってリフォームをしているところであります。エキまちカイギや、官民連携上諏訪駅周辺未来ビジョン策定会議でも、観光のことも含めて駅周辺の賑わいについて語られておりますが、そうしたことも含めながら観光の新たな展開について講義いただくということで、前向きな方ならどなたでもどうぞという会ですので、ぜひ取材していただきたいと思っております。もう1枚は、KRTで新たに生まれ変わる霧ヶ峰の魅力ということで、すでにシーズンを迎えているいろいろな取り組みを導入してきていただいておりますが、一つの柱として初めてのイベントで2月4日と5日に犬ぞりのイベントが開催される予定です。

最後になりましたが、教育委員会関係の資料をお付けいたしました。寒い最中ですが、各施設、機関がいろいろなイベント等を開催することになっておりますので、よろしく願いいたします。

記者との質疑応答

○新型コロナウイルス感染症について

(記者) 2類から5類に変わった際に、市の対応がどう変化するか。当初予算の中で重点的に取り組まれている点は。

(市長) 2類から5類への移行に関しまして、どのようになるかという詳細はこれから発表されてくると思います。それに沿って、私たちも遅れをとらないように対応していきたいと思っております。その中身はまだ見えておりませんので、まだこのタイミングでお話できることではなく、ご了解をいただきたいと思っております。予算案発表についても、発表が2月13日ですので、その時にお答えをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(記者) これから卒業式などあるが、マスク着用についての考えは。

(市長) マスクの着用についてはもうすでに屋外については、状況を見て外していいことになっております。ただ、個人の判断でそれぞれにご事情があるので、心配な方はお付けになってるということもあろうかと思っております。屋内についても徐々にマスクの着用について、緩和されてきているということ承知しております。ただ、まだこのことについて当市の中でこれとい

った基準については発表しておりません。現況を見極めている最中であり、コロナ感染症は現在まだ2類です。こうしたことについて、やはり国や県の方針等についても注意しなければなりませんので、また発表すべき時が来たらお伝えしていきたいと思えます。

(副市長) 今、小学校・中学校の学校現場においては、文部科学省からの通知、指導に基づいた対応を行っているというのが現状でございます。もちろん、特に小学生低学年時代のマスク着用については、様々な意見が保護者の中にもあるということは認識しておりますが、学校における対応とすれば、現時点では文科省の指導、文科省のガイドラインに従って対応しているというのが現状でございますので、先ほど市長が申し上げたとおり、これから仮に5類になったとした時には、文科省のガイドラインを受けるとともに現場において適切な判断をしていくべきだろうと思っております。

(記者) 医療の状況やワクチン接種の状況を受けて、2類から5類になることについてどのように考えるか。

(市長) 医療機関の皆さんには大変ご苦勞をいただいております。逼迫をしているという状況は変わっていないと思っております。診療の受け方について、熱など症状がある方はいきなり病院に行かずにまず体温を測り、それから電話等で問い合わせをして判断を仰ぐ。簡易キット等で陽性だったら、保健所等々に伝達をするといったルールを守っていただくことが大事だと思っております。医師の判断によりしばらく自宅療養で良いということであれば、診療機関まで行かず自宅療養で回復することができます。医療現場が逼迫することによって、助けられる命を助けるために、皆さんにはそのようなご協力をお願いしたいと思っております。2類から5類への判断については、国等で分析研究をしている最中ですので、しばらくお待ちいただければと思えます。

○令和5年度当初予算について

(記者) 具体的な事業は来月の発表になると思うが、大まかな考えや方針はあるか。

(市長) 4月の改選直前の予算編成となりましたので、政策的な判断を伴うものについては留保させていただき、当選をした時点の首長が判断をするという余裕を残しております。しかしながら、当初予算でつけておかなければならない感染対策等喫緊のものについては、遠慮なく盛らせていただきました。市民生活に支障をきたすようなこと、あるいは継続している事業等についてはそれらが滞らないようにという趣旨で予算は計上しています。

(副市長) 継続している大型のいわゆる建設事業、これは止めるわけにはいきませんので、継続して予算措置をし、どなたが市長になろうとも、市民生活や市民の命に直結する事業については、当初予算から積極的に盛っていくというのが、現金子市長の考え方ということで、それのもとに予算編成されていますので、詳細はまた会見の時に申し上げるということでご理解ください。

○工業メッセ開催地について

(記者) 岡谷で開かれる方針についての考えは。

(市長) かねてからの東バルの建屋について、もう老朽化していることは皆さん理解をいただき、応急処置的な対応でご利用いただいておりますが、事故がありましたので、皆さんにとっては急であったかもしれませんが、安全を第一優先として閉鎖を決めさせていただきました。そのことによって、会場について、ものづくり推進機構や実行委員会の皆さんが議論をされて、この諏訪6市町村の管内の場所を選択されたとお聞きしておりますので、その結論について尊重したいと思っております。その上で工業メッセのイベント自体は、私たち行政としても支援

していきたいと思っている事業でありますので、どのように協力できるか実行委員会とすり合わせをしながら考えていきたいと思っていますところでは。

○職員採用説明会について

(記者) 初めて開く理由は。

(総務部長) 諏訪市の場合は、募集人数に対して応募者はそれなりの人数ではありますが、昨今公務員の志望者が減ってきており、少子高齢化も一つの要因にはなろうかと思いますが、その中でやはり公務員に対しての興味、関心、また諏訪市の職員になりたいという人を早いうちから獲得したいということで、通常5月の広報に募集要綱を出していたところですが、実際の就職活動は大学3年生の後半に始まっているということで、この時期に種まきをしたいというところが主な趣旨でございます。有益な人材確保のために、今回初めて開催いたします。

○市長のマニフェストについて

(記者) どのくらい検討が進んでおり、いつ頃発表するか。

(市長) おそらく発表は4月初めになるのではないかと考えています。私自身が今現職の市長であり、予算編成をしている最中です。発表された予算との整合もさせていただいたり、すでに実施計画など5ヵ年計画もありますので、そうしたこともすり合わせながら、マニフェストについては就任期間の4年間を対象とした皆さんに対するお約束をまとめるものであります。そのため、今後後援会の皆さんや市民の皆さんとも懇談する中で仕上げていきたいと思っています。

(総務部長) これをもちまして、1月の定例記者会見を閉会いたします。どうもありがとうございました。